

リケンテクノス株式会社

2016年度 上期

(2017年3月期 第2四半期)

決算説明会

2016年11月25日

- 決 算 概 要
- 事 業 の 概 況
- 今 後 の 展 開

決算概要

単位：百万円、円

ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

科 目	2016年度 上期	2015年度 上期	前年同期比	増減率	2016年度上期 業績予想	達成率
売上高	43,171	44,628	▲1,456	▲3.3%	44,000	98.1%
売上総利益	8,669	7,400	+1,269	+17.1%	—	—
営業利益	2,912	1,963	+949	+48.3%	2,500	116.5%
経常利益	2,677	1,942	+735	+37.9%	2,500	107.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,123	760	+363	+47.7%	1,100	102.2%
1株当り利益	18.74	12.70	+6.04	+47.6%	18.34	102.2%

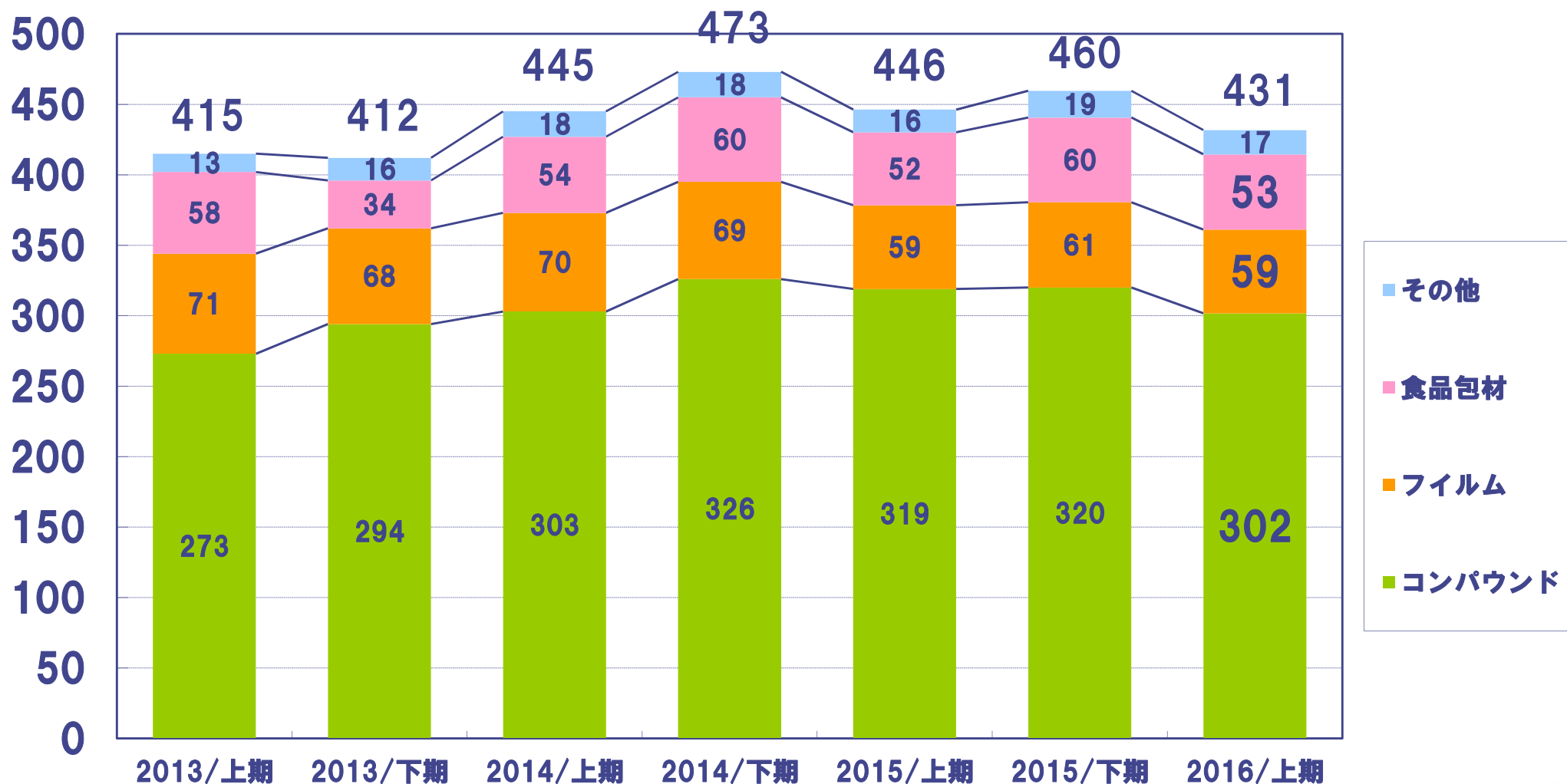
セグメント別売上高推移



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

2016年度上期 売上高 431億円
前年同期比 ▲1,456百万円減 (▲3.3%減)

単位：億円



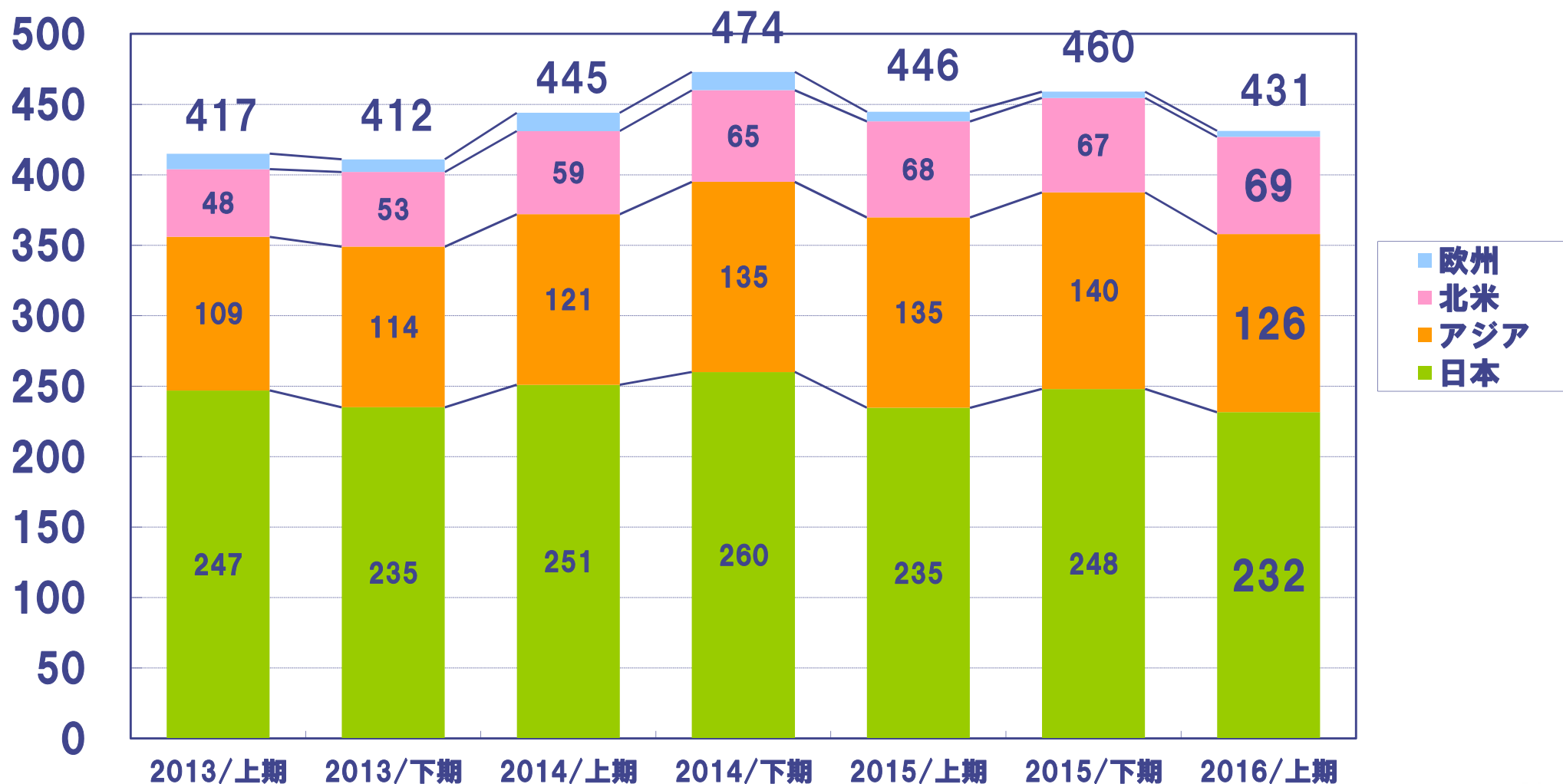
地域別売上高推移



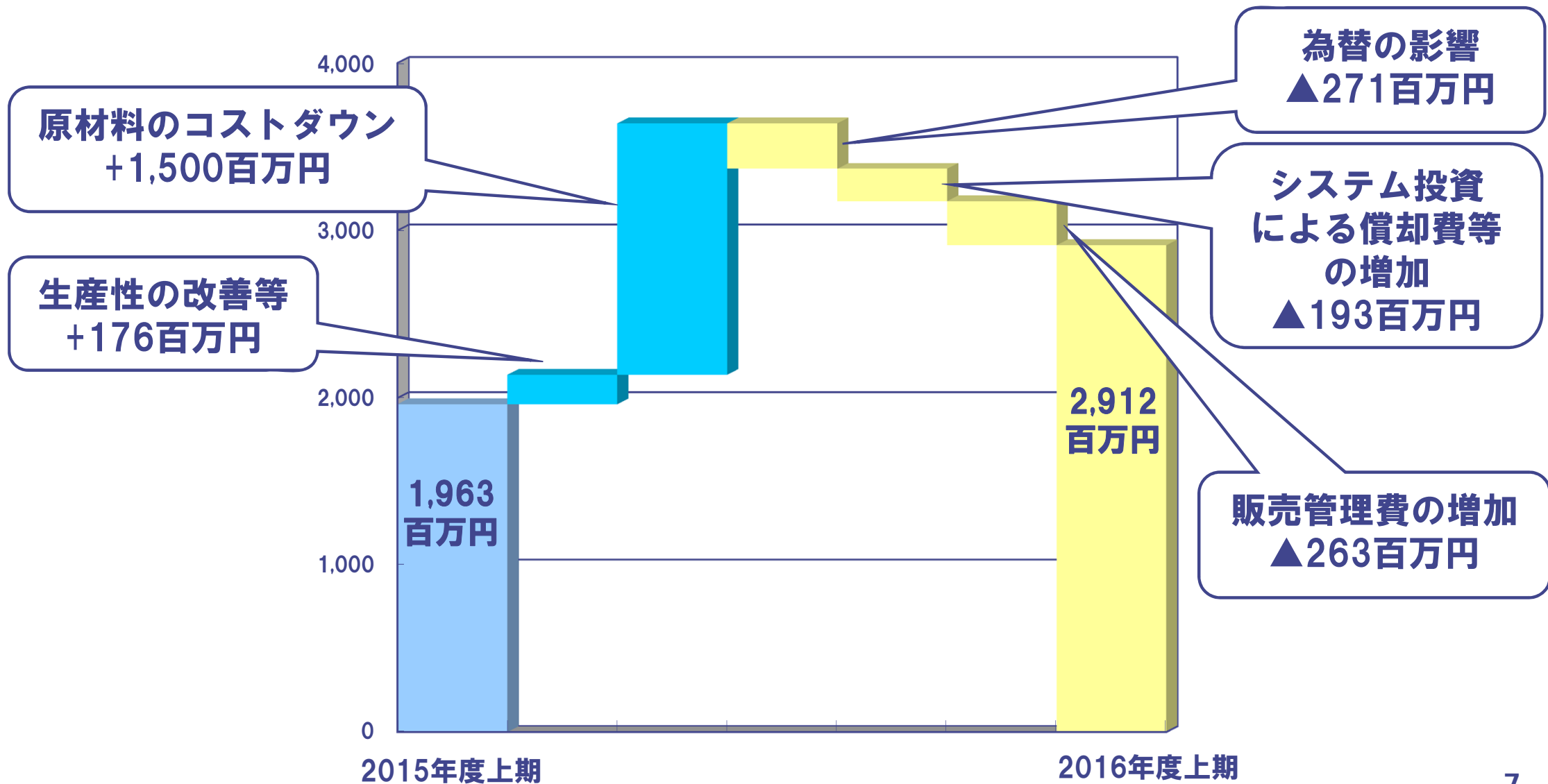
ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

2016年度上期 売上高 431億円
前年同期比 ▲1,456百万円減 (▲3.3%減)

単位：億円



営業利益 2,912百万円 前年同期比 949百万円増益



連結貸借対照表

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

資産合計

82,405百万円

前期末比 1,752百万円減

流動資産 47,546百万円

固定資産 34,858百万円

負債合計

36,778 百万円

前期末比 632百万円減

純資産合計

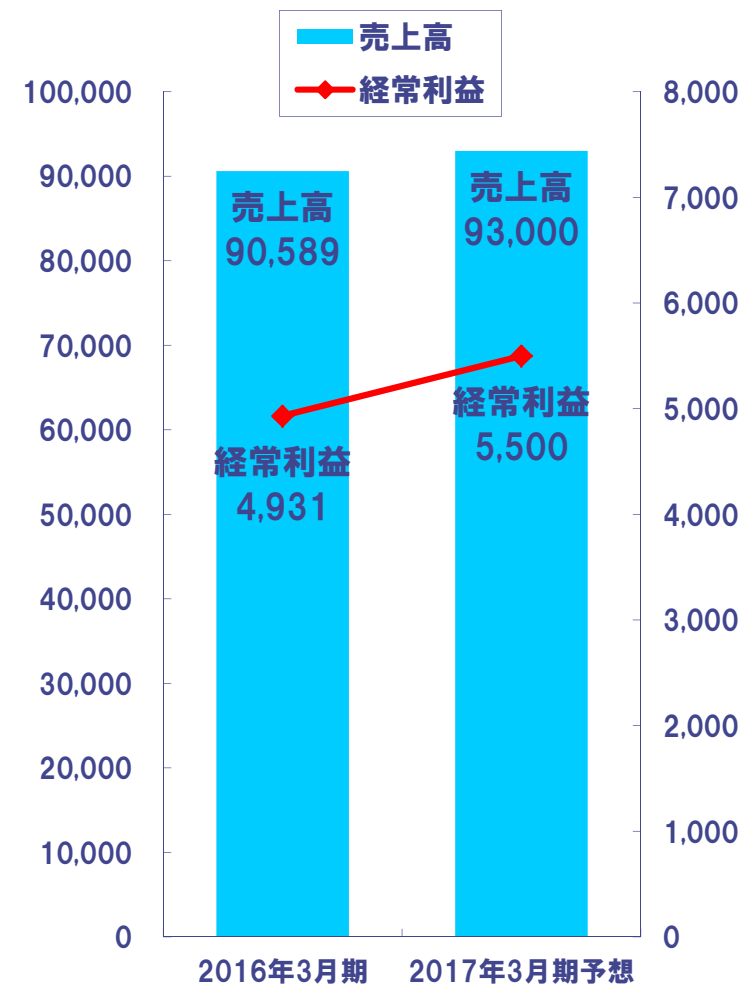
45,627 百万円

前期末比 1,120百万円減

	当期	前年 同期比
営業CF	3,144	+1,438
投資CF	▲2,299	▲501
財務CF	915	+1,257
増減額	935	+1,360
期末残高	14,379	+823

科目	2017年3月期 業績予想	2016年3月期 実績	伸び率
売上高	93,000	90,589	+2.7%
営業利益	5,500	5,084	+8.2%
経常利益	5,500	4,931	+11.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,600	2,482	+4.8%
1株当たり利益	43.36	41.41	+4.7%

(単位：百万円、円)



【業績予想のポイント】

○国内は、下期において回復傾向にある建材及び電材市場での需要の取り込みと拡販による売上拡大を見込む

○海外は、下期においてアジアの自動車及び医療用市場での売上拡大を見込むが、増設工場の減価償却費の負担が下期から発生

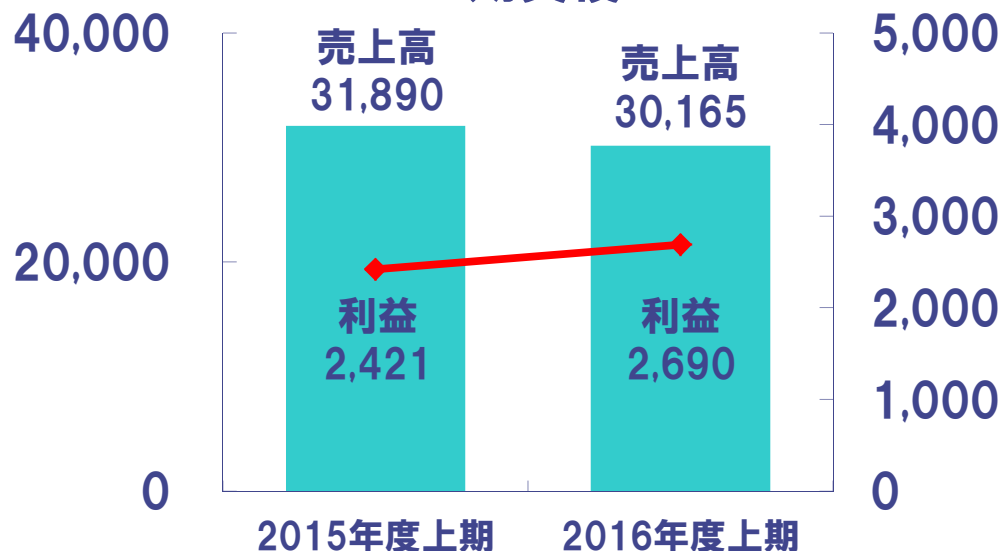
事業の概況



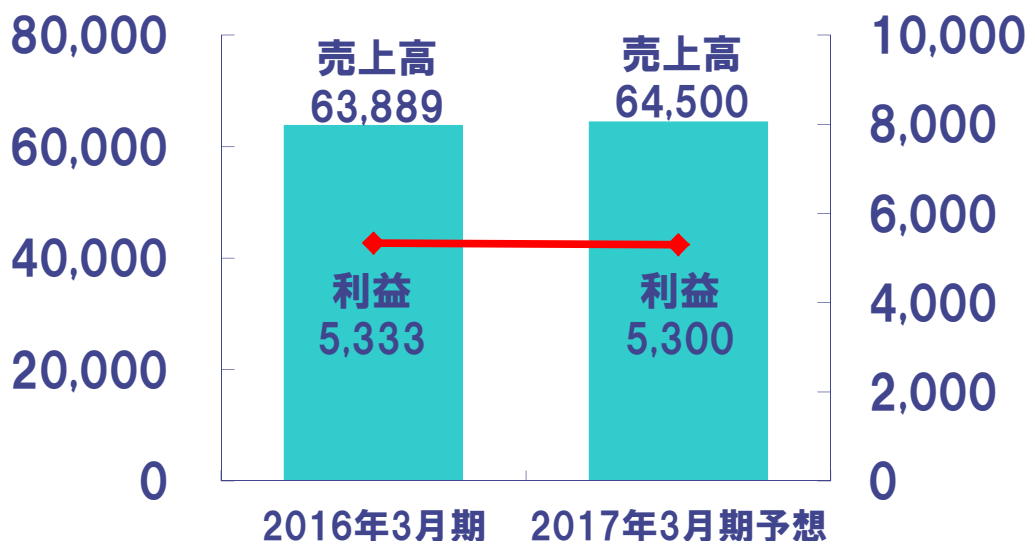
ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

上期実績

単位：百万円



通期予想



2016年度上期

1,724百万円減収

269百万円増益

前年同期比5.4%減

前年同期比11.1%増

- 国内は、総じて受注の回復に至らず
- 海外は、米国の建材市場及び米国・アジアの自動車市場が堅調に推移
- 国内外で、原材料価格起因の製品価格調整により減収
- 原材料のコストダウンもあり増益

2017年3月期 業績予想

610百万円増収

33百万円減益

前期比1.0%増

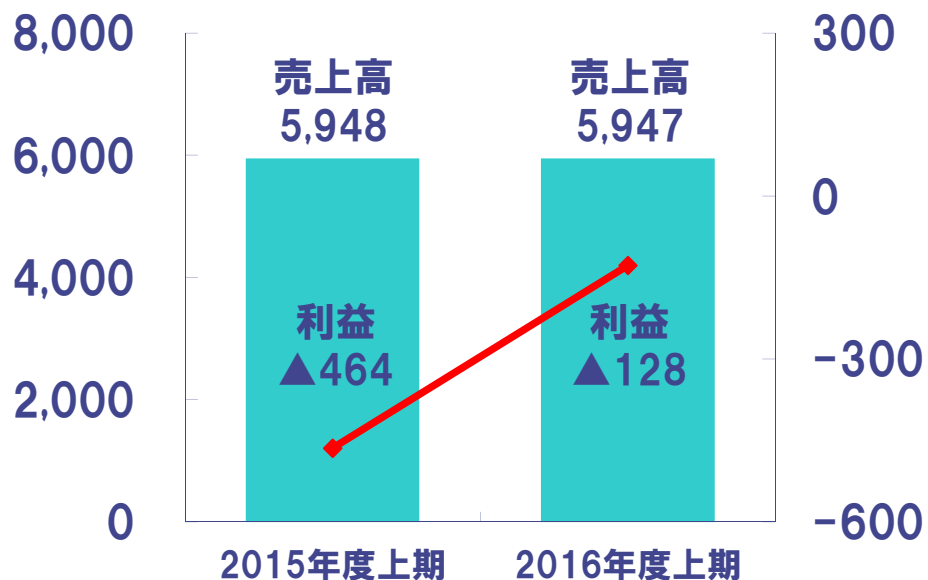
前期比4.4%減

- 下期は、国内の建材及び電材市場での売上増、海外ではアジアの自動車及び医療用市場での売上増を見込むが、設備投資の減価償却費の負担が発生



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

上期実績 単位：百万円



通期予想



2016年度上期

1百万円減収	336百万円赤字幅削減
前年同期比0.0%減	

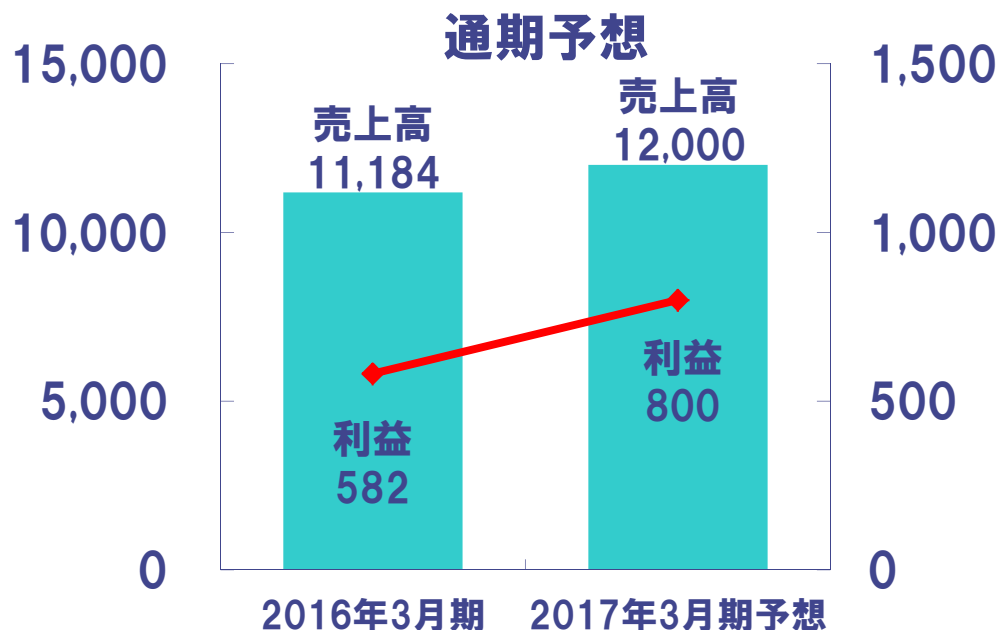
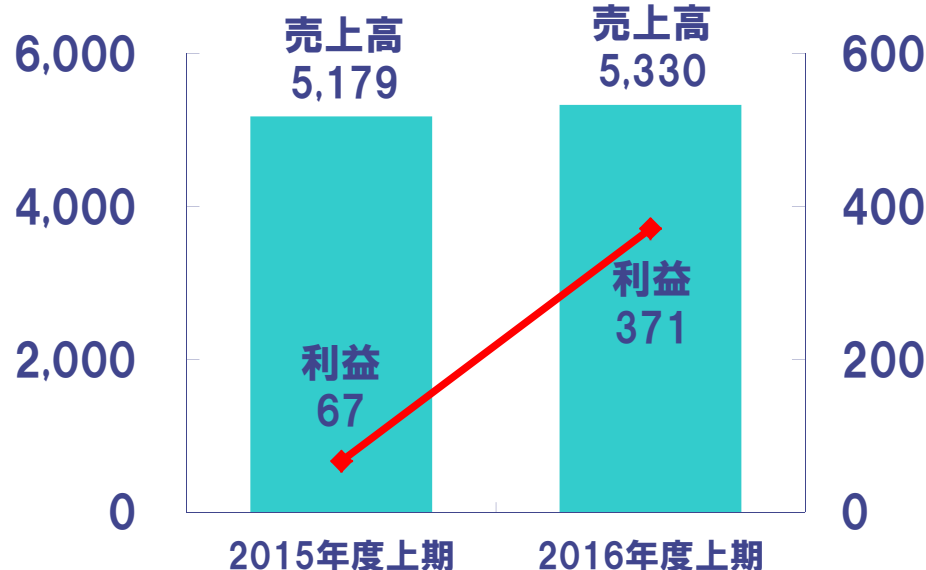
- 国内の建材市場では、住宅着工の回復とリフォーム需要により堅調
- 海外は、欧州向け回復せず減収
- 光学市場では、獲得の遅れている案件もあるが、モバイル関連で量産開始
- 製品構成変更と生産性改善により赤字縮小

2017年3月期 業績予想

993百万円増収	425百万円赤字幅削減
前期比8.3%増	

- 国内の建材市場での高級壁装フィルムの売上拡大及び非建材市場での拡販案件獲得による増収
- 光学市場では開発費用負担（約7億円）が継続するが、新規案件量産による増収

上期実績 単位：百万円



2016年度上期

150百万円増収

前年同期比2.9%増

303百万円増益

前年同期比447.4%増

○国内販売は塩ビ回帰の流れを取り込むことができ、主要製品である業務用塩ビラップの売上が好調に推移

○国内利益は生産性合理化及び低採算仕入商品の削減により増益

○中国現地法人は生産性の向上とコスト削減により増益

2017年3月期 業績予想

815百万円増収

前期比7.3%増

218百万円増益

前期比54.6%増

○国内は市場への塩ビ化提案を加速させ、業務用ラップだけでなく小巻塩ビラップの販売を強化

○中国の連結子会社は代理店と連携を深め、拡販に注力

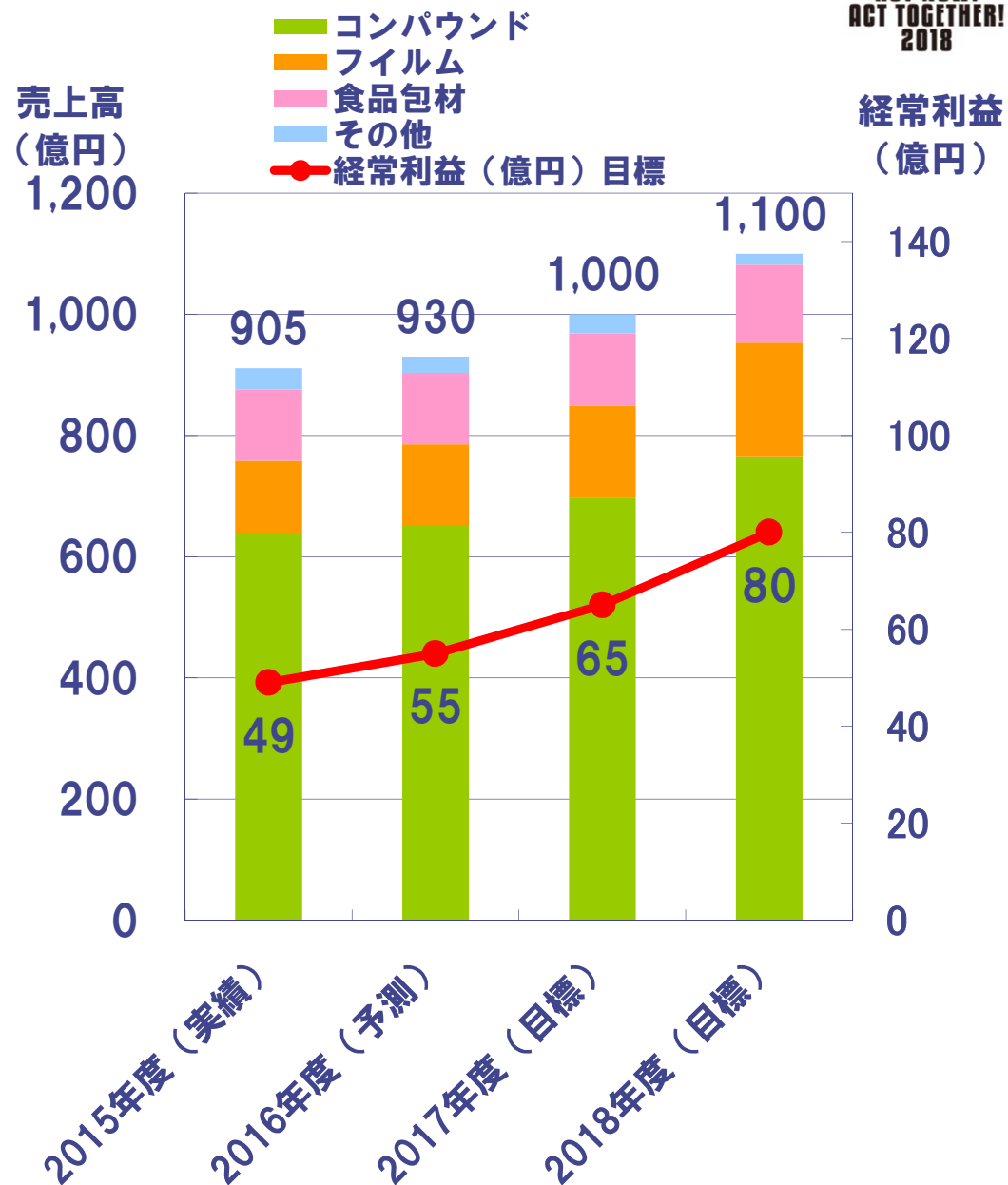
今後の展開

3カ年中期経営計画



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

(連結ベース)	2015年度 (実績)	2018年度 (計画最終年度)
売上高	905億円	1,100億円
営業利益	50億円	80億円
経常利益	49億円	80億円
当期純利益	24億円	45億円
ROS 売上高営業利益率	5.6%	7%
ROA 総資本経常利益率	5.8%	10%
ROE 株主資本純利益率	6.2%	8%





未進出地域
未開拓市場
への進出検討

最重点市場である
アジアにおいて
販売エリアを拡大
新市場開拓を実施

北米・中南米
への拡販と展開

上海理研塑料有限公司

増設

2016年9月 新工場稼働



新会社
設立

リケンベトナム

カンパニーリミテッド

2016年7月 新工場稼働



リケンエラストマーズ
コーポレーション

増設

2016年7月 新工場稼働





ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

海外拠点との協業による(戦略市場)拡販とグローバルネットワーク構築

未開拓・未進出地域の市場調査と非日系メーカーへの拡販

革新的な生産体制の創造

2016

2017

2018

アジア

ベトナム 塩ビ 新設工場稼働開始

中国 塩ビ 増設ライン稼働開始

タイ エラストマーライン 増設検討

エラストマーライン 増設

タイ 塩ビライン 増設検討

塩ビライン 増設

タイ 医療用塩ビライン 増設検討

医療用 塩ビライン 増設

インドネシア 生産性改善設備導入

一般塩ビライン 増設検討

一般塩ビライン 増設

アジア フィルム市場調査

フィルム海外生産拡大

北米

米国 塩ビ新設ライン稼働開始

米国 塩ビライン 増強検討

コモディティ市場調査

米国 エラストマーライン 増設検討

エラストマーライン 増設

海外売上高比率(実績)
47%

海外売上高比率
55%以上

事業戦略

アジア・北米市場における
圧倒的な存在感の確立



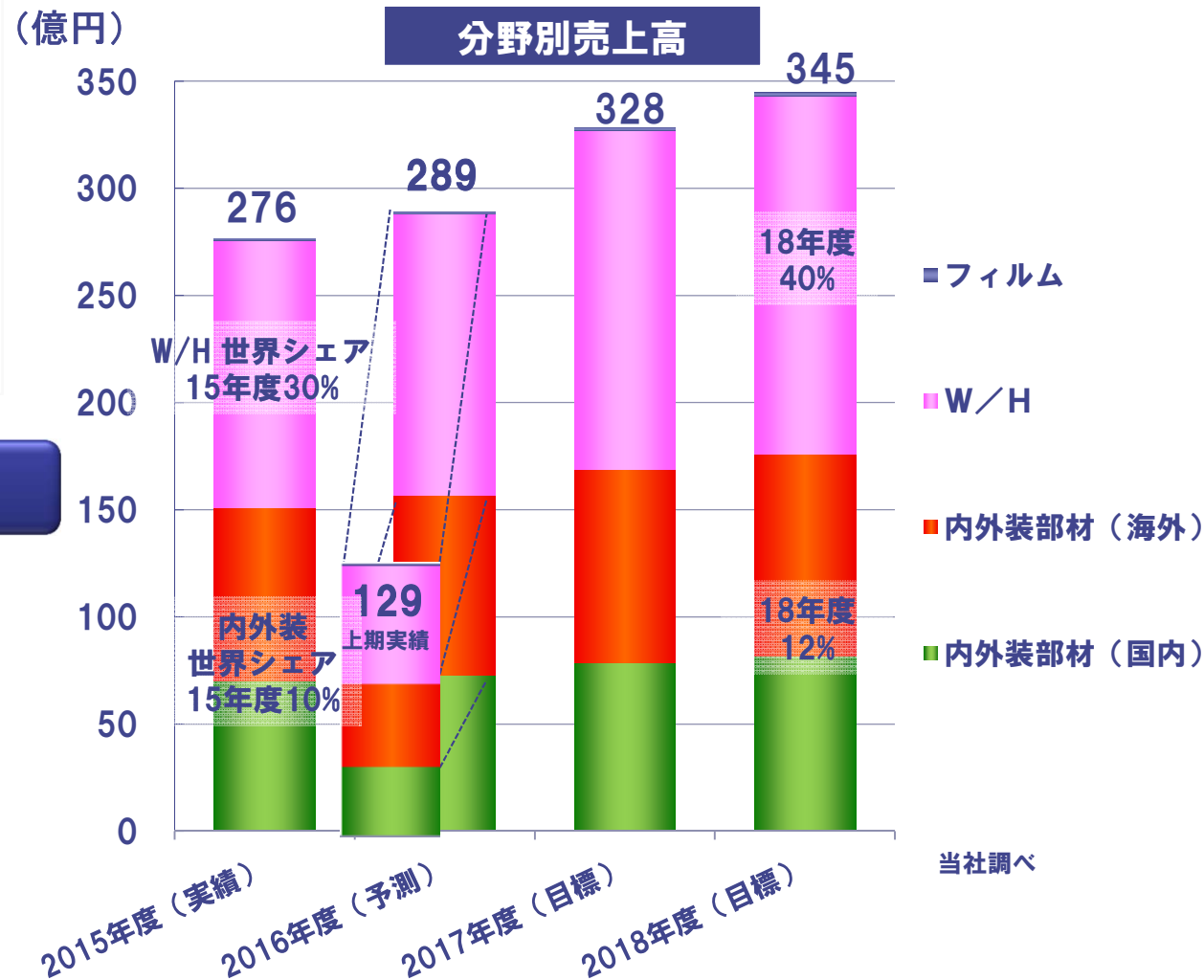
- ◆日系W/Hメーカーの新規案件獲得
- ◆内外装材、アジア・北米にて採用拡大
- ◆新製品（機能部品用TPE）を開発
- ◆非日系顧客向けビジネスの深耕

市場動向(予測)



売上高目標

2018年度：+69億（目標） 25% UP（15年比）



機能部品・ゴム代替部品への展開：Actymer[®]新シリーズ

機能部品市場
コンパウンド世界需要
**5万トン/
500億円(年)**

軽量化
工程簡略化
の提案

ラック&ピニオンブーツ材

流動中

車載用モーターシール材

初採用

ダクト材

サンプルワーク開始

ホース類

エアダクト

ガスケット



自動車エンジン廻り部材

高耐熱・高耐油製品への挑戦

Actymer[®]G

低圧縮歪特性、優れた耐熱性・耐油性を有するエラストマー

Actymer[®]K

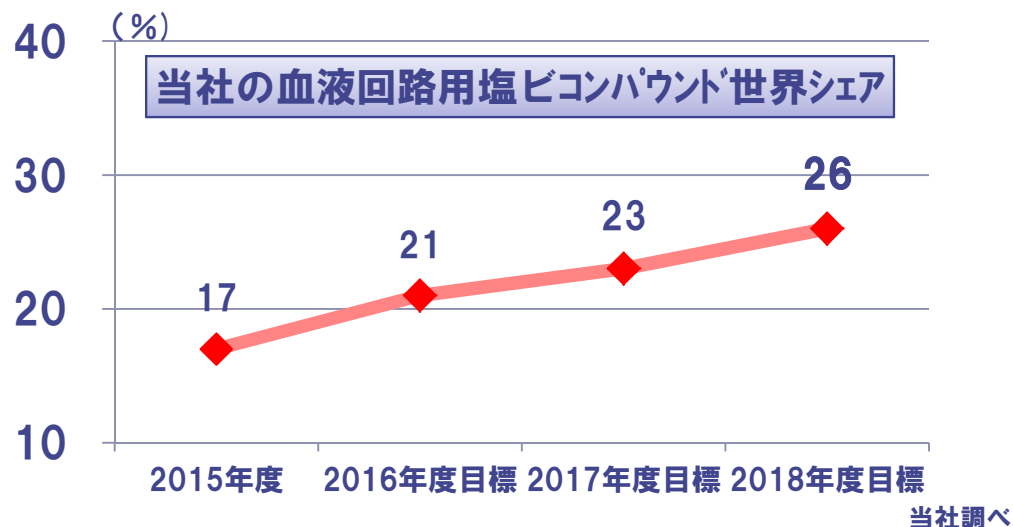
NBRや水添NBR代替を視野。
従来のエラストマーに比べ耐油性が5倍に向上。

Actymer[®]HT

アクリルゴム代替を視野。
従来のエラストマーに比べ 耐熱性が30℃、耐油性が5倍に向上。ナイロン6やナイロン66と一体成形可能。

グローバル展開

グローバル拠点と協業し、アジア市場を凌駕

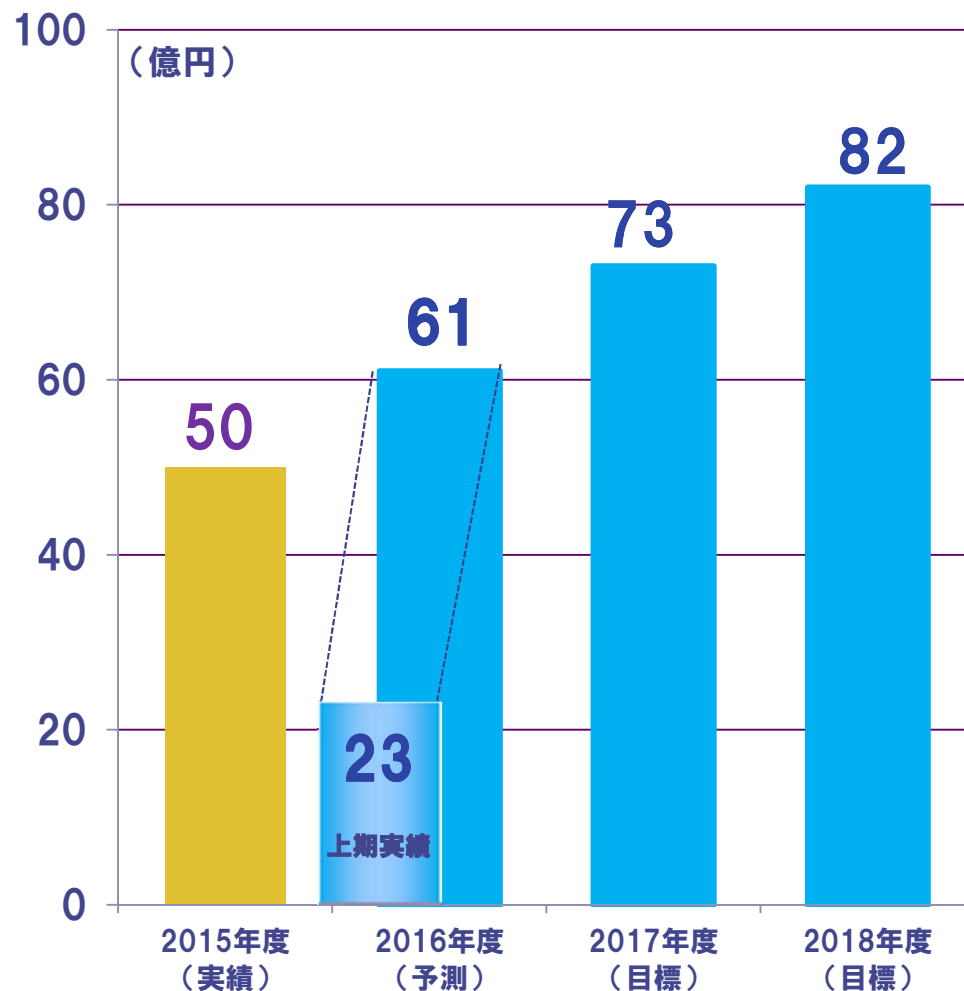


新市場への参入

- ◆ 医療用フィルム市場参入
- ◆ 非日系メーカーへの参入
- ◆ ゴム栓代替製品の投入

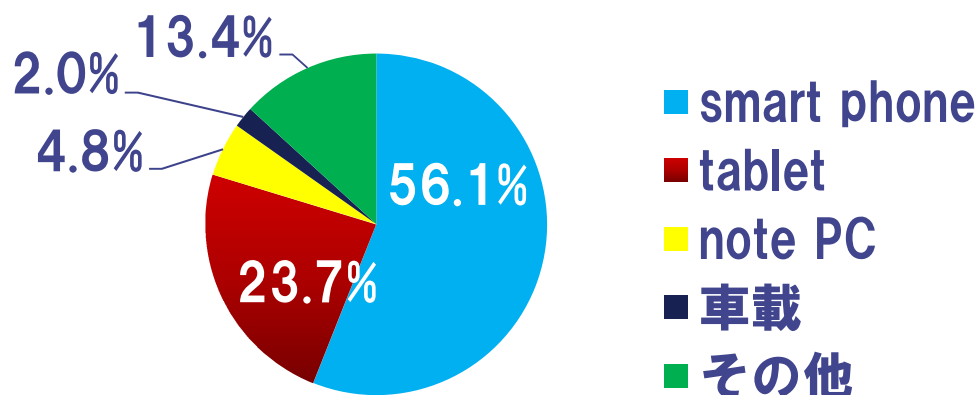
医療用売上高目標

2018年度：+32億（目標） 64% UP（15年比）



タッチパネルの市場動向

2016年度（出荷台数予測）



用途	ガラス面積	比率	ガラス売上
smart phone	16,064千m ²	56.1%	668億円
tablet	6,790千m ²	23.7%	279億円
note PC	1,454千m ²	4.8%	54億円
車載	585千m ²	2.0%	32億円
モニター	825千m ²	2.9%	35億円
その他	2,946千m ²	13.4%	159億円
計	28,684千m ²	100%	1,192億円

DC100の優位性

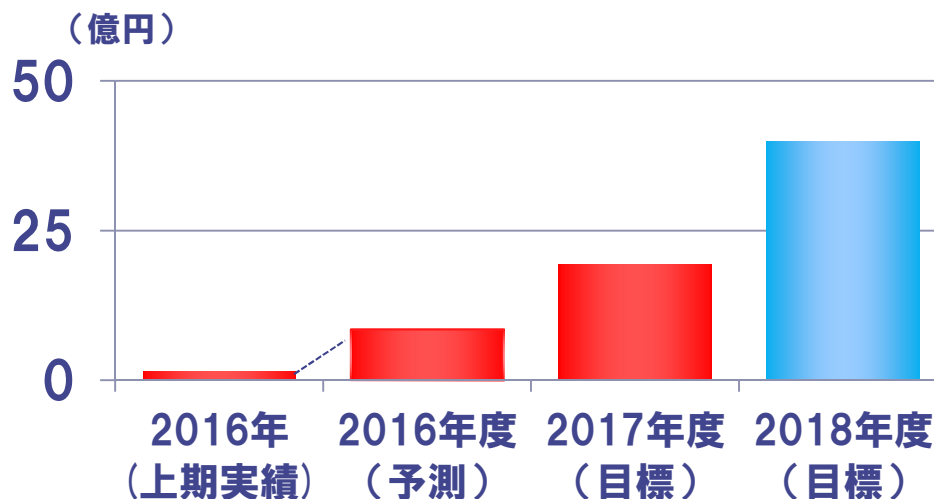
・vsガラス:

軽い、割れない、曲げられる

・vs他社品:

9Hの高硬度(+割れない)

売上高目標



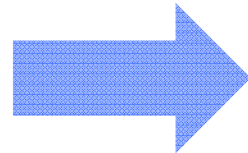
商品採用事例

・REPTY®DC100の高硬度と防眩タイプの組み合わせ(業界初)によるモバイル関連での実績

Smart Phone市場
アフターマーケット

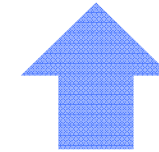
Smart phone市場
国内大手モバイルメーカー

業務用tablet市場
国内大手モバイルメーカー



今後の展開

- ・モバイル関連での横展開
- ・産業用ディスプレイ・サイネージ用
- ・車載用



DC100の機能開発





3年間での設備投資合計：160億円（国内：67億円、海外：93億円）

単位：億円 ※メンテナンスを含む。

年度	主な設備投資	総額	減価償却費	研究開発費
2016年度 (計画)	中国塩ビ増設、米国塩ビ増設、 ベトナム塩ビ新設	70	36	13
2017年度 (計画)	タイエラストマー増設、 インドネシア塩ビ増設、 フィルム最新設備導入	40	35	13
2018年度 (計画)	タイ塩ビ増設、インドネシア塩ビ増設、 米国エラストマー増設、 食品包材最新設備導入、国内設備	50	35	14

連結配当性向30%程度を一つの目途

安定配当

(円)

	中間	期末	通期	年間配当性向 (連結)	純資産配当率 (%)
2014年3月期	4.00	5.00	9.00	28.0	1.5
2015年3月期	4.00	5.00	9.00	28.4	1.4
2016年3月期	5.00	5.00	10.00	24.1	1.5
2017年3月期 (予想)	5.00	6.00	11.00	25.4	-

配当方針：連結配当性向30%程度を一つの目途とした上で、今後の事業投資・自己資本の充実等も勘案し、安定的な配当を行う

※2017年3月期（予想）における配当性向及び純資産配当率は、9月末現在で把握可能な数値にて試算しております。

自己株式取得（2016年10月24日決議）

<取得理由>

機動的な資本政策の遂行と資本効率の向上

<取得に関する内容>

取得し得る株式の総数：3百万株

〔（除自己株式）発行済株式総数に対する割合：4.94%〕

株式の取得価額の総額：1,800百万円

取得期間：2016年11月1日～2017年3月31日

先端技術を支える。
産業を支える。
この国の未来を支える。



独自の技術でさまざまな産業を支え、この国の真の力を取り戻したい。
今、素材の世界で挑戦しつづけるリケンテクノスの願いです。

開発者の画期的な発想も、素材の制約で実現しないこともある。そう、技術が自在に発揮するためには、素材のソリューション技術もまた進化しなければなりません。だからこそ私たちリケンテクノスは、常に新たな素材の開発研究にチャレンジしつづけています。自動車、建築、医療、情報機器、電線、食品包装。私たちは、60年以上にわたって世界のさまざまな産業を支えてきた知見と技術で、日本の基幹産業である「ものづくり」に貢献したい。コンパウンドに、フィルムに、お客さまの発想に応える機能を付加して、新技術誕生の力になりたい。この国が力強く進んでいく力を素材の世界から支えつづけていきたいと考えています。



RIKEN TECHNOS

リケンテクノス株式会社 〒103-8438 東京都中央区日本橋本町3-11-5 <http://www.rikentechnos.co.jp>

まだ世界にない、
質感を創る。

そのフィルム加工技術はもはやアート。
世界中のデザイナーの要望に応え、
さまざまなものの裏面を彩る。
Made in Japanの先端技術です。
まるで反物のように差んでいるのは、リケンテクノスのフィルム。本物をただ再現するのではなく、美しさをさらに引き立たせた意匠感を追求しながら、先端技術で新たな価値を付加しています。木目というデザインに心地よい触感を添える。光沢のある漉したデザインに傷が付きにくい機能をプラスする。家具、建材、クルマ、楽器、電化製品。あらゆるものが、リケンテクノスのフィルムによって美しく、機能的に生まれ変わっています。

RIKEN TECHNOS

リケンテクノス株式会社 〒103-8438 東京都中央区日本橋本町3-11-5 <http://www.rikentechnos.co.jp>

フィルム
「質感を創る」篇

高いストレッチ性と
密着性があるからできる技
食品業界などプロの現場で
最も選ばれている理由です。
卓越した技術は、次の卓越した
技術を生み出す。リケンテクノスの
ラップ技術は、文字通りその
証明。コンパウンドやフィルム
で培った技術をもとに、日本で
初めて進化ビニルの食品ラップ
を開発して以来、業務用ラップ
NO.1として現場で選ばれ続け
ています。他の追随を許さない、
高いストレッチ性と密着性。私
たちは、包む安心をお届けする
ために、さらなる進化を続けます。

タネも
仕掛けも、
あるんです。

RIKEN TECHNOS

※広告用に作られた画像です。実際に開梱はなりません。開梱の時に力を入れることとお勧めします。
リケンテクノス株式会社 〒101-8336 東京都千代田区神田波路町2-101 ワテラスタワー <http://www.rikentechnos.co.jp>

ラップ
「選ばれる理由」篇

コンパウンド
「産業を支える」篇

RIKEN TECHNOS
Presents

— "チャレンジ"する学生の想いに迫る —

毎週土曜
夕方6時55分
放送 **隔週
新作**

夢らぼ

DREAM LABORATORY

番組ナビゲーター 永田レイナ



What's a 夢らぼ

日々、さまざまな夢に向かって、
チャレンジする若き夢追い人たち。
どんな熱い想いを胸に秘めているのでしょうか？

この番組では、
そんな夢を追いかける学生をスタジオに迎え、
その「夢」や「想い」、背景にある「夢のルーツ」に、
番組ナビゲーターの永田レイナが迫ります！

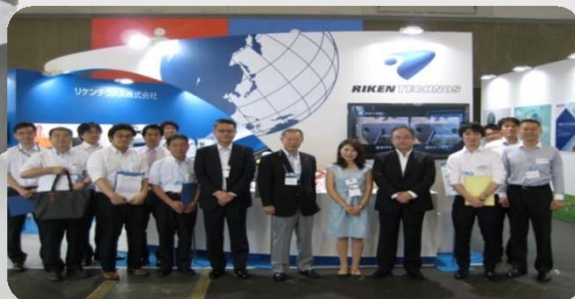


WEBサイトはこちら：<http://www.yume-lab.jp/>

自動車市場： 人とくるまのテクノロジー展

展示会メインテーマ

- ・ 車体の軽量化に貢献できる製品の出品
- ・ 快適でワクワク感のある移動空間の創造



会場：ポートメッセなごや
会期：6月29日～7月1日
全体来場者数：38,584名

北米建材市場：International Woodworking Fair 2016

展示会メインテーマ

- ・ 新製品、新意匠製品の出品
- ・ 新規顧客の獲得



会場：アメリカ アトランタ
会期：8月24日～27日
全体来場者数：16,000名

第1回住宅・都市イノベーション総合展 高性能建材EXPO出展

期間: 2016年12月14日～16日

会場: 東京ビッグサイト

概要: 日本初の住宅・ビル・都市開発を網羅した展示会

対象: ハウスメーカー 工務店 設計事務所 ゼネコン等

最新製品と開発品を展示します。



本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

お問い合わせ先

webmaster@rikentechnos.co.jp

経理部 高見